

～ネット・スマホの付き合い方をお子さんと一緒に 考えてみませんか～

11月18日に第4回子育てまなび講座「ネット・スマホに関する講座」を開催しました。

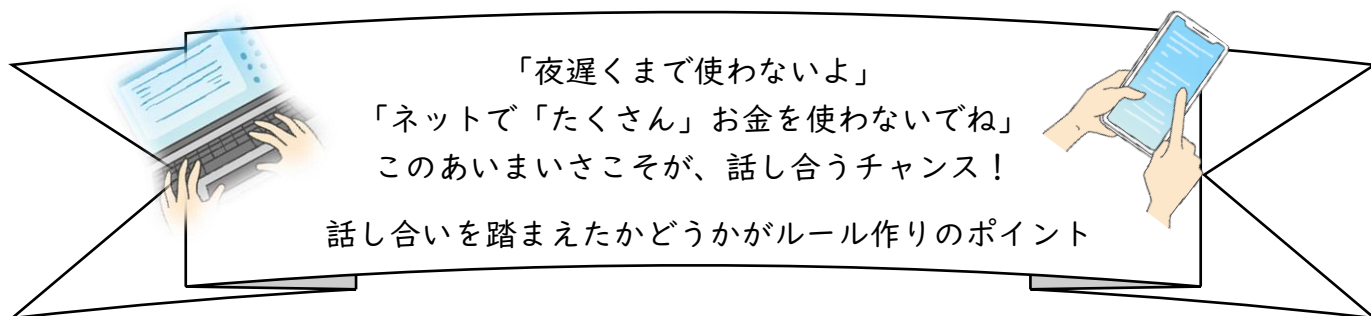
実際に可児市の児童・生徒のスマートフォン所有率は多くの学年で、岐阜県の所有率を上回っています。小学校6年生で53.2%、中学2年生では81.2%の児童生徒がスマートフォンを持っていることが分かりました。（令和2年度、情報モラル調査結果より）

そんな中、「スマホゲームばかりしていて声をかけてもやめない」「家庭内でルールを作ったもののなかなか守れない」など、保護者の方からネットやスマホに関する様々な悩みの声が聞かれました。まなび講座では、教育研究所指導主事玉置真行さんを招いてどのようにネット・スマホと関わっていくのかを学びました。

キーワードは、他律的ルールから自律的ルールへ。ルール作りのプロセス

お子さんの学校、年齢や、参加者の立場を超えて、熱心にグループワークが行われました。考え、話し、意思表示しながら、あっという間の90分の講話でした。





【ルール】ゲームは1日1時間まで

↓ ルールを破りそうになる
時を一緒に考える

- ・熱中してしまい、時間になっていることに気づかない

【工夫】

- ・時計を見えるところに置いておく
- ・終わりの時間の10分前に音楽をかける

【ルール】ゲームは1日1時間まで

↓ ルールを破りそうになる
時を一緒に考える

- ・友達と協力プレーをしているから、自分だけ抜けられない。

【工夫】

- ・友達に家のルールを伝えておく

【ルールを破ってしまった時は】

- ・ルールは破られるものという心構え→極力、感情的にならない。ルールを破ったことを叱るという他律的な対応ではなく、どのようにしたらルールを守れるか一緒に考える自律的な対応をすることが望ましい。事前に対応を決めておくことも有効。決める時も、初めから厳しくしないで、子どもと一緒に考え子どもが提案することが望ましい。

【ルールに関わって大切なこと】

- ・決めてから終わりではなく、決めてからが大事！
- ・「できて当たり前」ではなく、できた感動を味わう。
- ・少しの成長・改善を見逃さず、認める。＜Iメッセージを大切に＞
- ・想定外は起きるもの→親も、子も、ルールを変える話し合いを求めることができることをルールにしておく。
- ・自律を育むためには、自己決定の機会を増やしていく。
- ・保護者同士のコミュニケーションが支えになる。



年末年始は、子どもたちにとってお金を使う機会も増えると思います。ゲームやスマホを購入する機会もあるかと思います。ネットやスマホとどう付き合っていくのか、親として子どもと一緒に考えることが大切ですね。また、一回だけでなく、何度も子どもの成長と共に話し合うことも大切です。ぜひ、この機会にお子さんと話し合ってみませんか。